

予算	款	項	目	決算書	
	9	1	3	280	頁

目名
消防施設費

事業名称
消防施設整備事業

1. 概要

目的	消防施設、設備等の整備を行い、消防水利、資機材等の充実を図る。	対象	市民
事業概要	<p>○消防水利・資機材等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火水槽整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽を整備(国庫補助分 2基、移転補償分 2基) 防火水槽の有蓋化工事を実施(4基) 防火水槽漏水補修工事を実施(9基) ・消防用水路改修事業 <ul style="list-style-type: none"> 下の原水路の改修工事を実施(1ヶ所) ・石油貯蔵施設立地対策等交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> 消防団員用防火帽の購入(312個、各車両に4個) 		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	消防水利・資機材等整備事業	防火水槽の設置(4基) 有蓋化(4基) 漏水補修(9基)等 工事請負費	65,104	47,482	9,092	4,500	7,316	26,574	3
計			65,104	47,482	9,092	4,500	7,316	26,574	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民の安全安心の確保		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			市民の安全安心の確保が必要であるため			
活動指標	指標	a	施設整備数	b	車両整備	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
市民の安全安心の確保			—	—
			—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 施設整備数	ヶ所	67 ヶ所	38 ヶ所	17 ヶ所
b 車両整備	台	4 台	6 台	3 台
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
施設整備等が十分に充足されていない。
対応（改善点等）
国の補助事業等が縮小傾向にあるが、事業実施の緊急性を考慮し、補助金の有効な活用を行い地域消防力の向上を図る。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

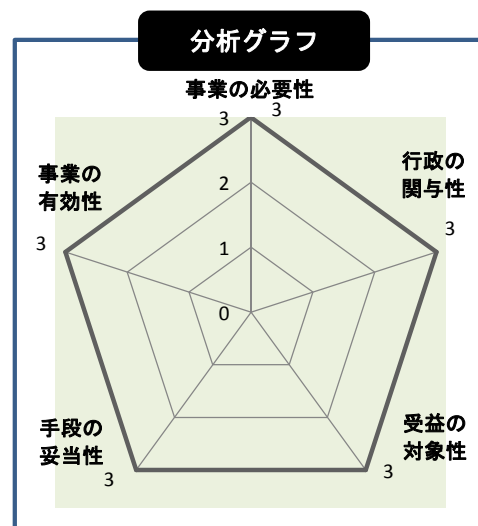
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		119,878	69,613	47,482	45,884
うち経常経費			16,267	16,922	12,754
財源内訳	国費	86,353	24,642	4,768	10,472
	県費	4,505	4,423	4,324	4,400
	市債	9,800	4,500	4,500	9,900
	その他		3,969	7,316	
	一般財源	19,220	32,079	26,574	21,112
うち経常			16,267	16,922	12,754
事業費に係る人件費		8,540	5,590	14,169	13,600
事業費に係る人役		1.95	1.30	3.30	3.12

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
施設設備等の更新が必要のため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 改善要望箇所を実施
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市の果たすべき事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 優先的なものから対応する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 消防法に基づいた果たすべき責務
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 災害対応の強化が保たれる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で効果的に実施すること。